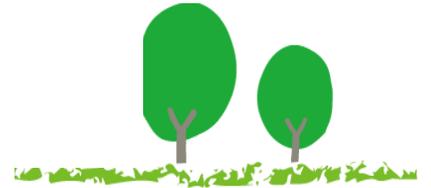


布水中道徳通信



「**心**」となるように

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。
道徳教育は、生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成することをねらいとして行われてきました。中学校では令和元年度から道徳の時間は「道徳科」という教科となり、4年目を迎えています。

この「道徳通信」では、学校教育全般における道徳教育の取り組みや道徳の授業の様子などを紹介していきます。紹介する様々な取り組みについてご家庭や地域でも話し合い、心をはぐくむきっかけとなってもらえたら幸いです。

年間を通じて考えていく「22個の心」

道徳科の時間は一人ひとりが自分の「心」と向き合う時間であり、毎時間1つの「心」についてクラスの中で話し合い、互いに意見を交流し合う中で、その「心」について考える「ヒント」を得ています。

各学年、年間を通じて考える「心」が22個あります。

A. 自分自身に関する心

- ① 自主・自律
- ② 節度・節制
- ③ 向上心
- ④ 希望と勇気
- ⑤ 真理の探究

B. 他の人との関わりに関する心

- ⑥ 思いやり
- ⑦ 礼儀
- ⑧ 友情・信頼
- ⑨ 相互理解

C. 集団や社会との関わりに関する心

- ⑩ 遵法精神・公德心
- ⑪ 公正・公平
- ⑫ 社会参画
- ⑬ 勤労
- ⑭ 家族愛
- ⑮ 集団生活の充実
- ⑯ 郷土の伝統と文化の尊重
- ⑰ 国を愛する態度
- ⑱ 国際理解・国際貢献

D. 生命や自然などとの関わり

- ⑲ 生命の尊さ
- ⑳ 自然愛護
- ㉑ 感動・畏敬の念
- ㉒ よりよく生きる喜び



人間にとって必要な「心」を知る、感じる、考える

1学期の2年生の実践より



「あいさつ」 B-(7)礼儀



「あいさつは親しい人同士だけがすればいいのか?」「あいさつはなぜ必要なのか?」と「あいさつ」の意義について考えました。それらを考えることを通して、生徒一人ひとりが自分のあいさつを見直し、礼儀を向上させていくことにつながられました。

【生徒のまとめより】

あいさつは、礼儀や相手の気持ちを理解する道具で、されたら嬉しいし、前向きな気持ちになれるのでとても大切なことだと学びました。自分はあまり沢山の人のあいさつをしていないということに気づいたので、今度からは色々な人に積極的にあいさつをしようと思います。

あいさつは、あいさつ1つで仲良くなることができたり、朝のあいさつだと、スタートの気分が良くなったりと、あいさつをすることでいいことがたくさんあるから、いろんな人にあいさつをすることを心がけていきたいです。

あいさつについてあらためて考えられた。あいさつは他人と仲良くなるきっかけにもなるし、雰囲気もよくなるので、あいさつは良い事だと思いました。あいさつをしてくれたら自分は嬉しいし、自分が相手にあいさつするのも気持ちが良くなると思うから、あいさつを大切にしていきたいです。

< 「親子の手紙」 への協力のお願い >

布水中学校では毎年、夏休み前に「親子の手紙」を書いています。道徳科の授業で「家族」をテーマにした教材をもとに「家族」について考え、子どもたちが日頃、思っている親への感謝の気持ちを書いたものです。6月下旬頃に、お子様が持って帰りますので、ご協力いただける保護者の皆さまは100字ほど書いていただき、お子様を通して、7月20日(水)終業式の日までに担任に提出をお願いします。(学校でまとめて応募するので、切手を貼る必要はありません。)



のりしろ	のりしろ	<table border="1"> <tr> <th>名前</th> <th>学校名</th> </tr> <tr> <td>前名</td> <td>市(町)立 県立 私立</td> </tr> <tr> <td>名前</td> <td>小学校 中学校</td> </tr> <tr> <td>学年</td> <td>組</td> </tr> </table>		名前	学校名	前名	市(町)立 県立 私立	名前	小学校 中学校	学年	組	のりしろ
	名前	学校名										
前名	市(町)立 県立 私立											
名前	小学校 中学校											
学年	組											
<p>最初に手紙を書いた人(お母さんかお父さん)の氏名(大人) (子ども)</p>												
のりしろ		<p>◎ 子どもから大人へ</p> <p>100字以内で書いてください</p> <p>「」「」も使えません</p>										
のりしろ		<table border="1"> <tr> <th>続柄</th> <th>氏名</th> </tr> <tr> <td>お父さん</td> <td>お母さん</td> </tr> <tr> <td>おじいさん</td> <td>おばあさん</td> </tr> </table> <p>◎ 大人から子どもへ</p> <p>100字以内で書いてください</p> <p>「」「」も使えません</p>		続柄	氏名	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん			
続柄	氏名											
お父さん	お母さん											
おじいさん	おばあさん											
のりしろ		<p>応募をする人(大人)の氏名</p> <p>◎ 例) 父 田中 太郎</p>										